

■平成23年3月診療分(4月提出分)に係る
国保、後期高齢者医療の紙レセプトの提出方法

一部負担金の猶予措置等に係る明細書

通常の詳細書

提出方法等の説明

総括票(国保)

盛岡市

保険者不明分

請求先名(県内)へ追記し、請求冊数へ合算してください

件数、日数、点数は県内の一般被保険者7割欄へ合算してください。

請求書(国保)
盛岡市
030015

猶予対象外分
レセプト
030015
999999999
不詳
災1

猶予対象外分
レセプト
030015
2345-67890
災1

レセプト
030015
3456-78901
災2

レセプト
030015
999999999
不詳

レセプト
030015
1234-56789

請求書(国保)
保険者不明分
9999999
件数、日数、点数は県内の一般被保険者7割欄へ合算してください。

猶予対象外分
レセプト
999999999
999999999
不詳
災1

猶予対象外分
レセプト
999999999
234-678901
災1

レセプト
999999999
345-789
災2

レセプト
999999999
999999999
不詳

レセプト
999999999
123-567

総括票(後期)

盛岡市

市町村不明分

請求先名(県内)へ追記し、請求冊数へ合算してください

件数、日数、点数は県内の9割欄へ合算してください。

請求書(後期)
盛岡市
39032016

猶予対象外分
レセプト
39032016
999999999
不詳
災1

猶予対象外分
レセプト
39032016
23456789
災1

レセプト
39032016
34567890
災2

レセプト
39032016
999999999
不詳

レセプト
39032016
12345678

請求書(後期)
市町村不明分
399999999
件数、日数、点数は県内の後期高齢9割欄へ合算してください。

猶予対象外分
レセプト
999999999
999999999
不詳
災1

猶予対象外分
レセプト
999999999
23456789
災1

レセプト
999999999
34567890
災2

レセプト
999999999
999999999
不詳

レセプト
999999999
12345678

○総括票の記入方法

- ・保険者不明分は、請求先名(県内)欄へ国保分は「保険者不明分」、後期高齢者医療分は「市町村不明分」とそれぞれ追記し、請求冊数県内分へ合算してください。
- ・件数、日数、点数は、国保分は県内の一般被保険者7割欄へ、後期高齢者医療分は9割欄へそれぞれ合算してください。
- ・総括票は、保険者不明分のみを別作成としてもかまいません。その際も記入方法は上記のとおりとしてください。

○請求書の記入方法

- ・保険者不明分の保険者番号は、国保分は「999999」、後期高齢者医療分は「39999999」としてください。
- ・件数、実日数、点数は、国保分は00一般被保険者7割欄へ、後期高齢者医療分は9割欄へそれぞれ合算してください。

○レセプトのつづり方

- ・一部負担金の猶予措置等に係る明細書(「災1」分及びその方の猶予措置対象外分、「災2」分)は、通常の詳細書とは別に束ねて請求書の下につづってください。「災1」「災2」で、被保険者証の記号・番号が不明のもの(「不詳」分)は、この束の一番上につづってください。なお、「災1」分及びその方の猶予措置対象外分のレセプトは左上をホチキス止めしてください。
- ・通常の詳細書は、その下につづってください。なお、通常の詳細書内の「不詳」分は、この束の一番上につづってください。

○レセプトの記入方法

- ・「災1」「災2」「不詳」は、レセプト欄外右上に赤字で丸囲み記入してください。
- ・保険者(市町村)不明分は、国保、後期高齢者医療分とも保険者番号欄に「99999999(8桁)」を記入してください。
- ・「不詳」分は被保険者証記号・番号欄に「99999999(9桁)」を記入してください。
- ・本家入外区分または給付割合が不明の場合、国保は、入院は「1本入」、外来は「2本外」を、後期高齢者は、入院は「7高入」、外来は「8高外」をそれぞれ丸で囲んでください。

レセプトをつづる順序